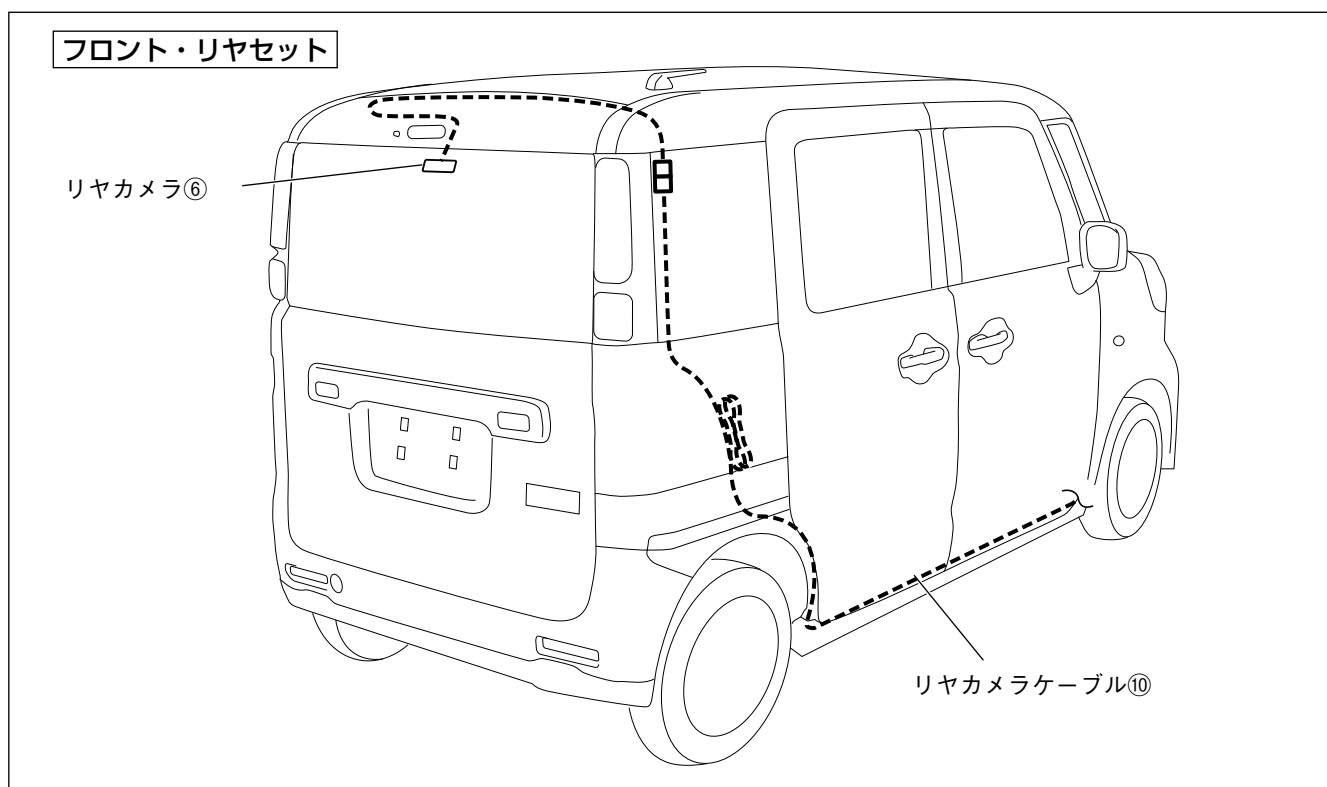
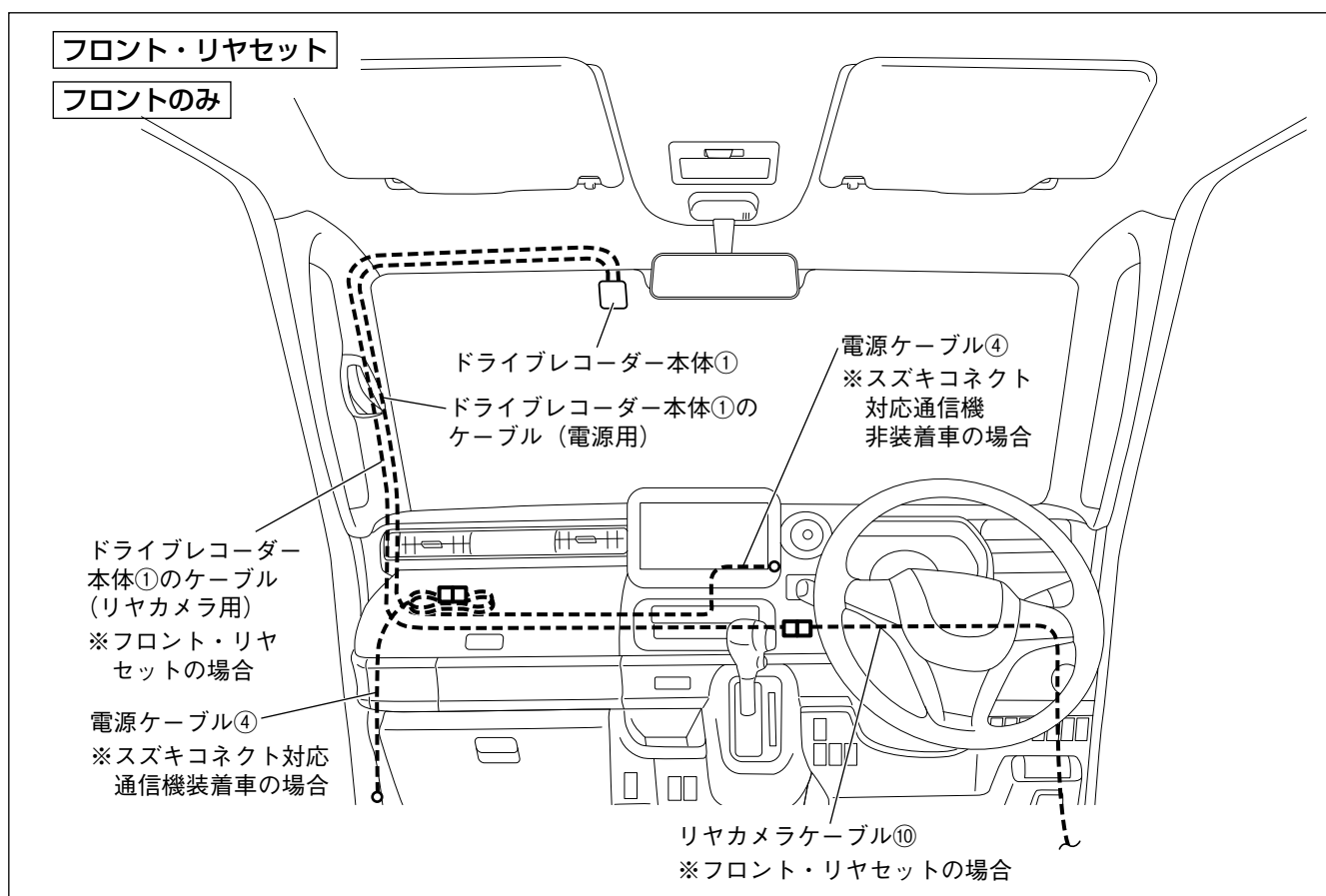


スぺーシア（MK53 系）／スぺーシアベース（MK33）

👉 アドバイス

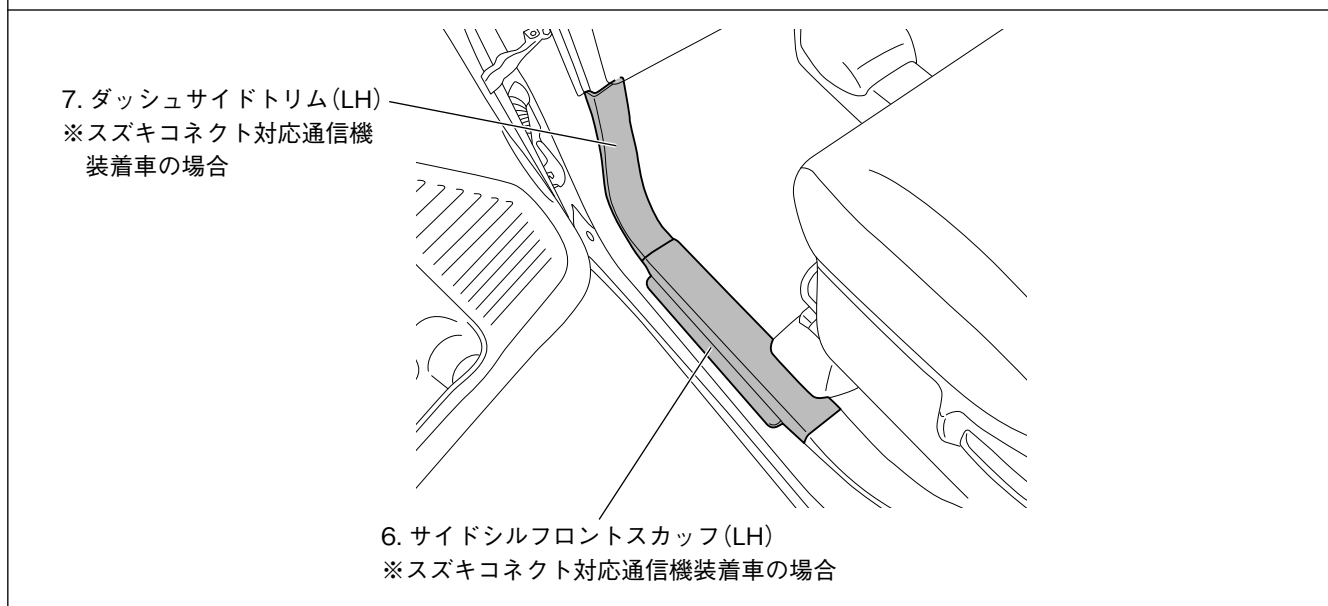
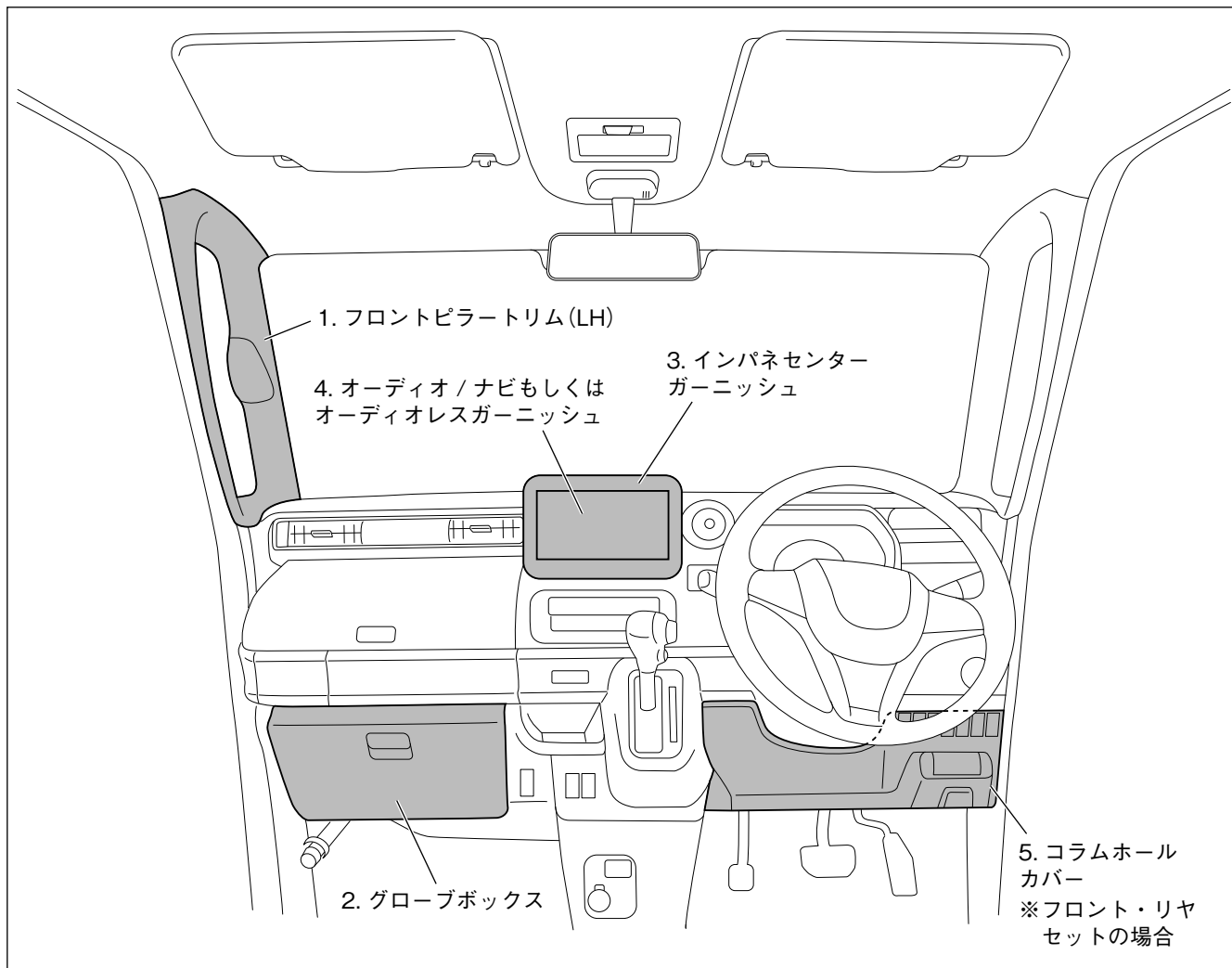
本説明書は「フロント・リヤセット」、「フロントのみ」の2つの製品の取付方法について記載しています。タイトルや本文に記載しているコメントを参考にして、それぞれの製品の取り付けを行ってください。

1. 取付概要図



2. 車両部品の取り外し

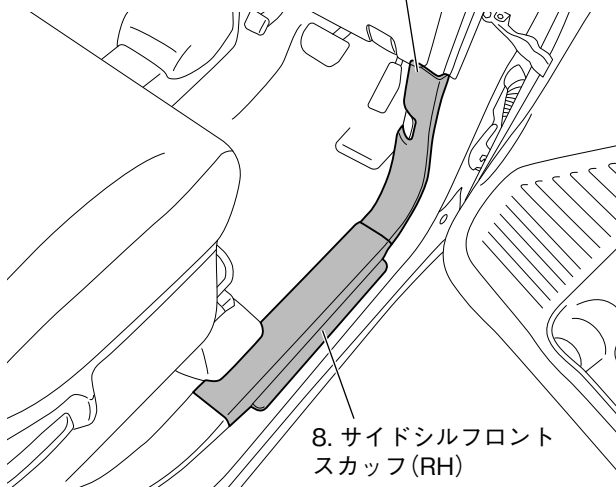
1. 図中の番号順に車両部品を取り外します。



注記

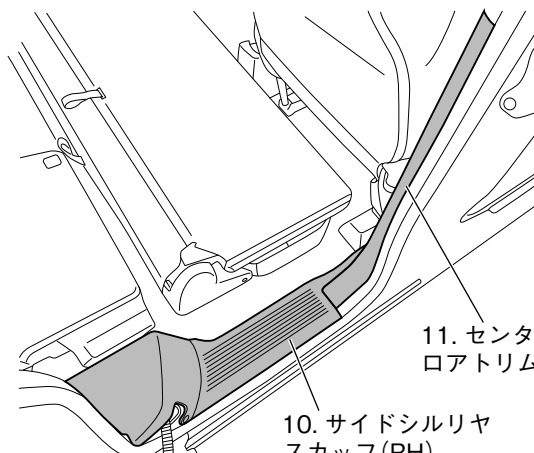
「フロント・リヤセット」時は、以下の車両部品も取り外してください。

9. ダッシュサイドトリム (RH)

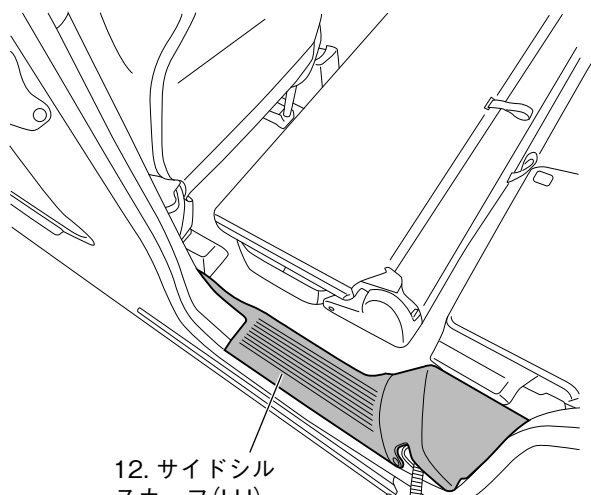


11. センターピラ
ロアトリム (RH)

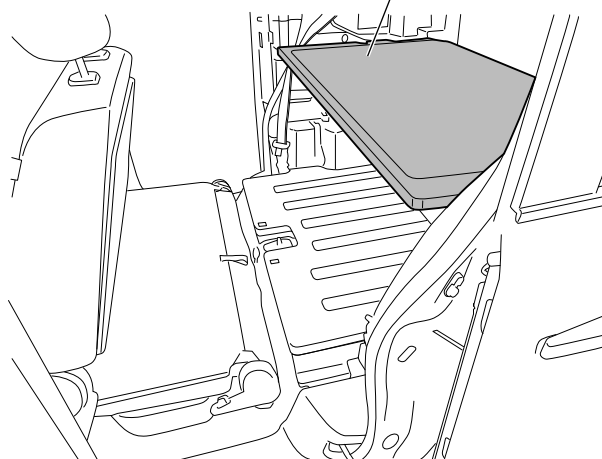
10. サイドシルリヤ
スカッフ (RH)



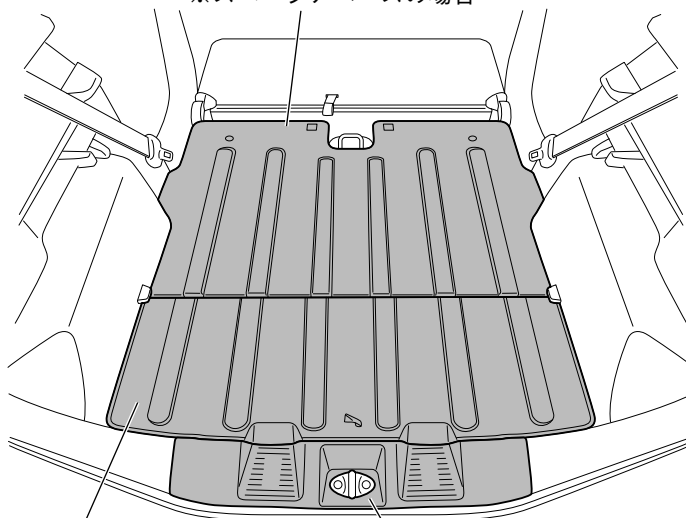
12. サイドシル
スカッフ (LH)



13. ラゲッジボード
※スぺーシアベースの場合



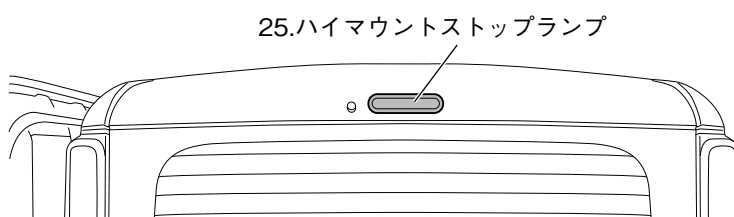
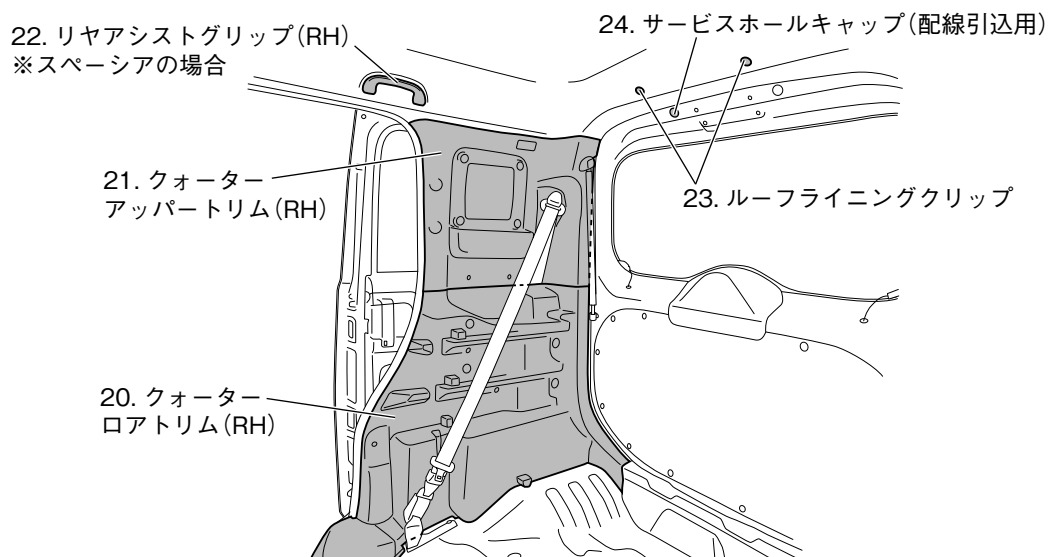
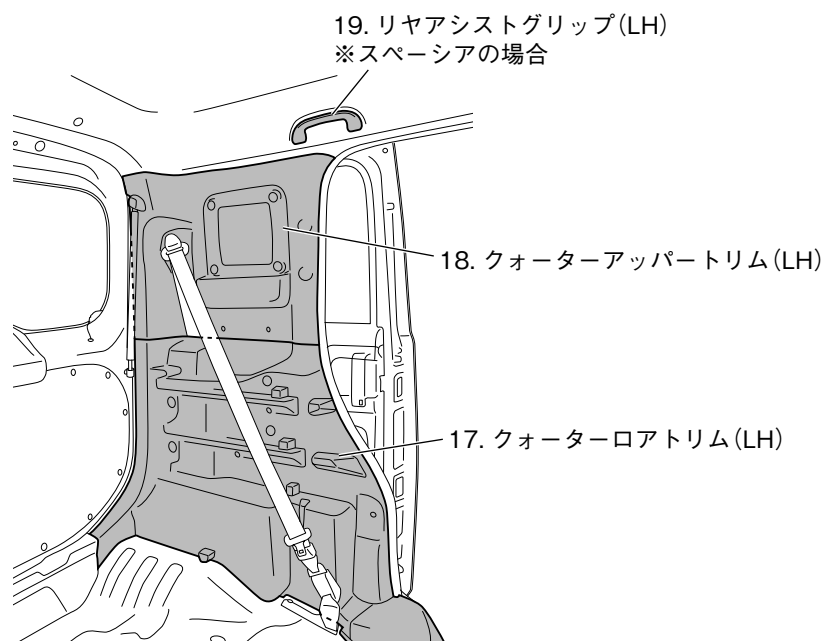
15. フロアボードおよびツールボックス
※スぺーシアベースの場合



14. ラゲッジボードおよび
ラゲッジアンダートレイ

16. テールエンドトリム





3. 取付前の準備

a. クッションテープおよび保護シートの準備

フロント・リヤセット

フロントのみ

●フロント・リヤセットの場合

クッションテープ(200×100mm)⑫

60×50mm A	60×50mm A	40×25mm B	40×25mm B
		40×25mm B	
60×50mm A	60×30mm F	60×30mm F	

50×25mm C	50×25mm C	50×25mm C	50×25mm C
50×25mm C	50×25mm C	50×25mm C	50×25mm C
50×25mm C	50×25mm C	50×25mm C	50×25mm C
50×25mm C	50×25mm C	50×25mm C	50×25mm C

200×20mm D	
200×20mm D	
100×20mm D	
120×20mm E	

1. クッションテープ⑫を左図のようにカットします。

A：ケーブル接続部巻き付け用

B：ドライブレコーダー本体①の
ケーブル巻き付け用

C：ケーブル固定用

D：リヤカメラ⑥のケーブル巻き付
け用

E：余長束ね用

F：中継コネクタ⑤巻き付け用

※スズキコネクタ対応通信機装
着車のみ

保護シート(200×100mm)⑬

50 × 30mm G	50 × 30mm G	50 × 30mm G	
90 × 30mm G		70 × 40mm G	
60 × 25mm G			
	15 × 25mm G		

2. 保護シート⑬を左図のようにカット
します。

G：エッジ保護用

●フロントのみの場合

クッションテープ(200×100mm)⑫

60×50mm A	40×25mm B	50×25mm C	50×25mm C	
	40×25mm B	50×25mm C	50×25mm C	
60×30mm E	60×30mm E			50×25mm C
120×20mm D				40×25mm B

1. クッションテープ⑫を左図のようにカットします。

A：ケーブル接続部巻き付け用

B：ドライブレコーダー本体①の
ケーブル巻き付け用

C：ケーブル固定用

D：余長束ね用

E：中継コネクタ⑤巻き付け用

※スズキコネクタ対応通信機装
着車のみ

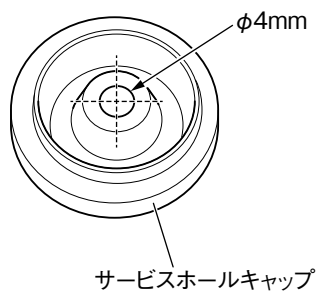
保護シート(200×100mm)⑬

50×30mm F	60×25mm F	15×25mm F

2. 保護シート⑬を左図のようにカット
します。

F：エッジ保護用

b. サービスホールキャップの加工 フロント・リヤセット



1. バックドアから取り外した車両サービスホールキャップの中央に穴（ $\phi 4\text{mm}$ ）を開けます。

⚠ 警告

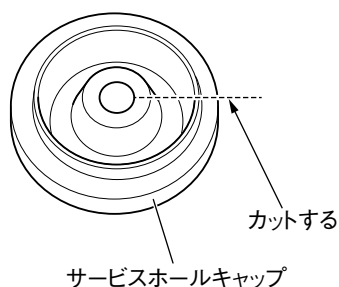
穴開けの際は切削粉が飛散するため、必ず保護メガネを着用してください。

⚠ 注意

電動ドリル使用時は、巻き込み防止のため手袋を着用しないでください。

注 記

- ・ドリルの刃先端部から 10mm 以内の位置にストッパー（布テープ等）を巻いてください。
- ・ドリルは穴開け面に対して垂直に当ててください。

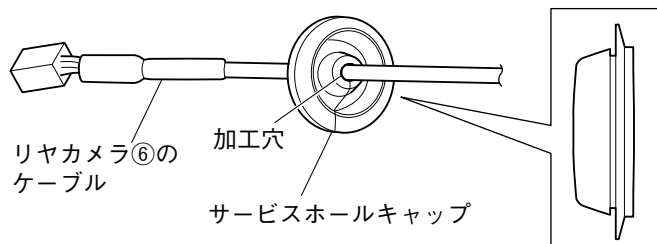


2. 穴開け加工部をヤスリでバリ取り処理します。
3. サービスホールキャップの図示位置をカッターナイフ等で切り込みを入れます。

⚠ 注意

切り込み加工時は、ケブラー手袋を着用してください。

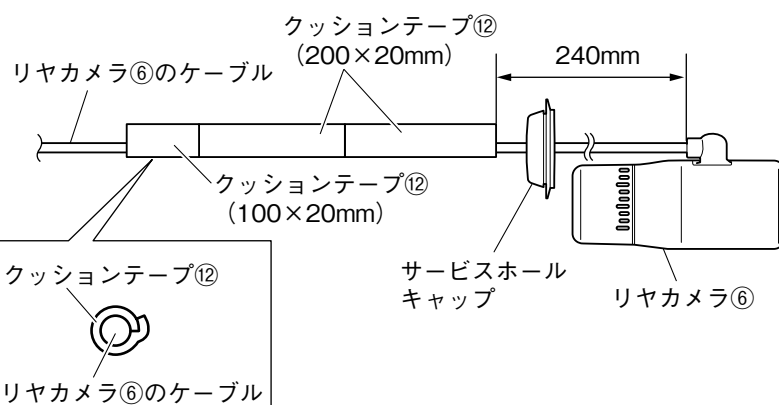
c. リヤカメラのケーブルの準備 フロント・リヤセット



1. 加工したサービスホールキャップにリヤカメラ⑥のケーブルを通します。

注 記

サービスホールキャップは、図の向きで取り付けてください。



2. リヤカメラ⑥のケーブルの図示位置にクッションテープ⑫を貼り付けます。

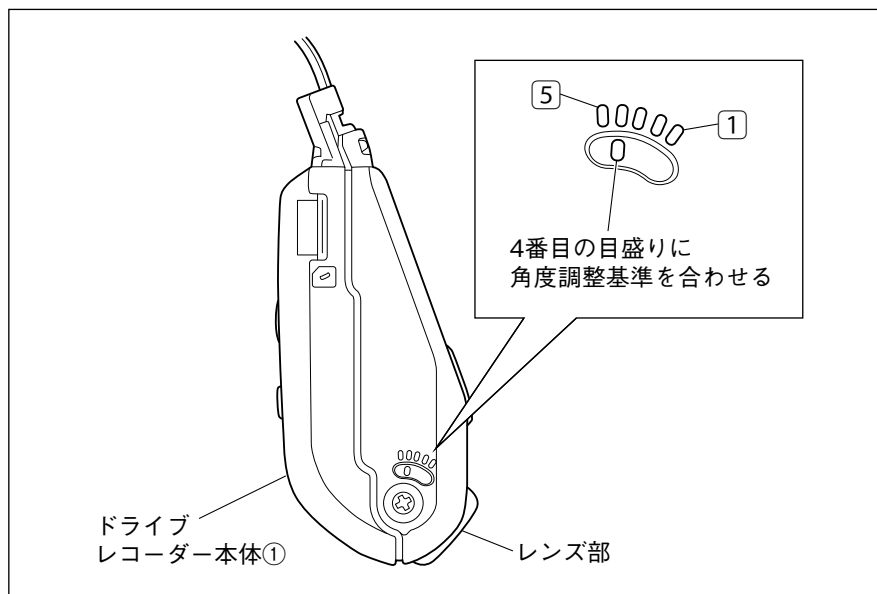
注 記

クッションテープ⑫の貼り付けは、サービスホールキャップを左図位置まで移動してから行ってください。

4. 取付要領

a. カメラ角度調整 フロント・リヤセット フロントのみ

●ドライブレコーダー本体



1. ドライブレコーダー本体①のレンズ部の角度を左図位置に固定します。

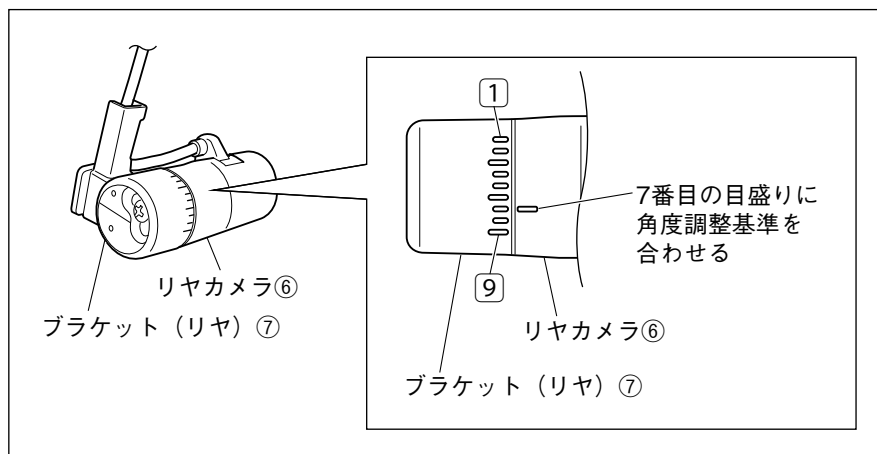
注記

- ・カメラレンズ部のよごれや傷付き防止のため、カメラレンズ部を絶対に触らないでください。
- ・しっかりと固定され、がたつき等が無いことを確認してください。

👉 アドバイス

ドライブレコーダー本体①レンズ部の角度調整方法の詳細は、共通編の「<ドライブレコーダー本体の取り付け>」を参照してください。

●リヤカメラ



注記

以下の作業は「フロント・リヤセット」時のみ行ってください。

1. ブラケット (リヤ) ⑦をリヤカメラ⑥に組み付け、左図位置に固定します。

注記

- ・取り付け後の本体位置ずれ・傾きを抑制するため、共通編 21 ページに記載しているケーブル引き回しの作業内容を参照の上配線してください。
- ・カメラレンズ部のよごれや傷付き防止のため、カメラレンズ部を絶対に触らないでください。
- ・しっかりと固定され、がたつき等が無いことを確認してください。

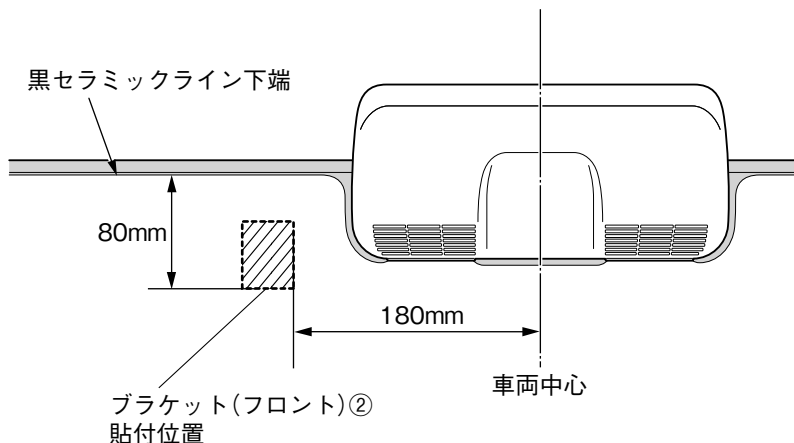
👉 アドバイス

ブラケット (リヤ) ⑦の組み付けの詳細は、共通編の「<リヤカメラの組み立て>」を参照してください。

b. カメラ取付位置 フロント・リヤセット フロントのみ

●ドライブレコーダー本体

<車室内視>



1. ブラケット（フロント）②をフロントガラス内側の左図位置に取り付けます。

注 記

- ・ 取付面の汚れ等をクリーナー⑭できれいに拭き取ってください。汚れていると接着力が低下します。
- ・ 接着面に触れたり、ブラケットを取り付け直したりしないでください。
- ・ 気温が低い時（15℃以下）は、取付面をドライヤーなどで温めてから取付作業を行ってください。

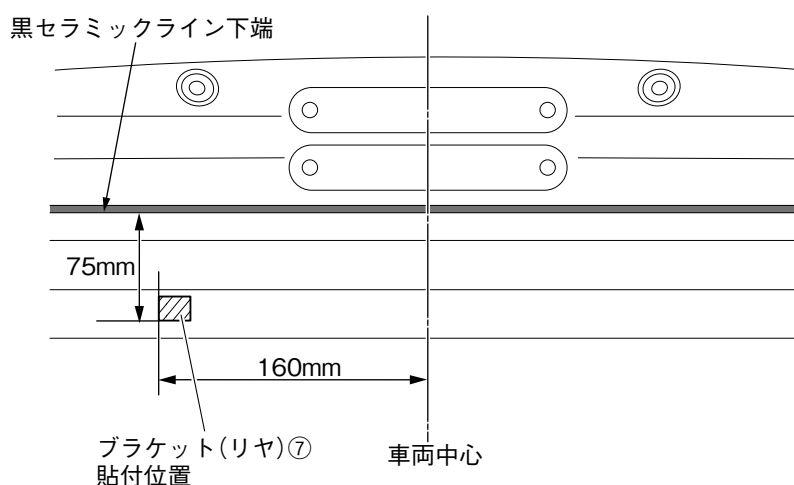
👉 アドバイス

ドライブレコーダー本体①、ブラケット（フロント）②の取り付けの詳細は、共通編の「<ドライブレコーダー本体の取り付け>」を参照してください。

2. ドライブレコーダー本体①をブラケット（フロント）②に取り付け、ネジ(M3 × 5.5mm)③で固定します。

●リヤカメラ

<車室内視>



注 記

以下の作業は「フロント・リヤセット」時のみ行ってください。

1. ブラケット（リヤ）⑦をバックドアガラス内側の左図位置に取り付けます。

注 記

- ・ 取付面の汚れ等をクリーナー⑭できれいに拭き取ってください。汚れていると接着力が低下します。
- ・ 接着面に触れたり、ブラケットを取り付け直したりしないでください。
- ・ 気温が低い時（15℃以下）は、取付面をドライヤーなどで温めてから取付作業を行ってください。

👉 アドバイス

リヤカメラ⑥、ブラケット（リヤ）⑦の取り付けの詳細は、共通編の「<リヤカメラの取り付け>」を参照してください。

c. ドライブレコーダー本体のケーブル（リヤカメラ用、電源用）配線

フロント・リヤセット

フロントのみ

<ルーフライニング部の配線>

※フロント・リヤセットの場合

クッションテープ⑫

ドライブレコーダー
本体①のケーブル

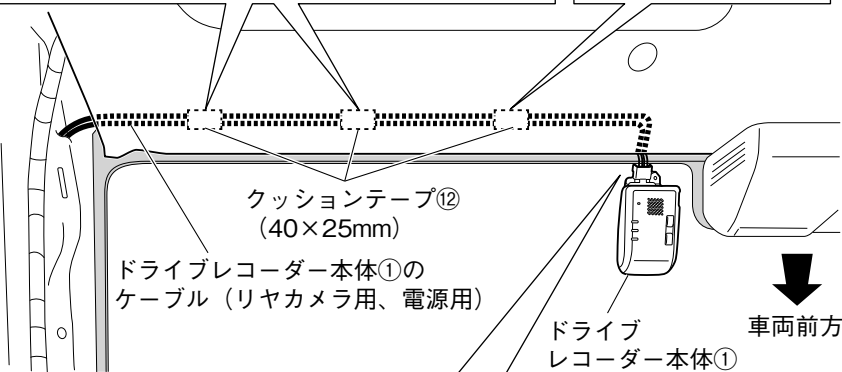
※フロントのみの場合

クッションテープ⑫

ドライブレコーダー
本体①のケーブル

クッションテープ⑫

ドライブレコーダー
本体①のケーブル



○ フロントガラス
ルーフライニング

ドライブレコーダー本体①のケーブル

×

○ フロントガラス
ルーフライニング

ドライブレコーダー本体①のケーブル

注記

「フロントのみ」の場合は、ドライブレコーダー本体①のケーブル（リヤカメラ用、電源用）の配線作業はありません。

1. ドライブレコーダー本体①のケーブル（リヤカメラ用、電源用）にクッションテープ⑫を巻き付けます。
2. ドライブレコーダー本体①のケーブル（リヤカメラ用、電源用）をルーフライニング内に入れ込みながら、フロントピラー部へ配線します。

注記

ルーフライニング引込部のドライブレコーダー本体①のケーブル（リヤカメラ用、電源用）はフロントガラスと並行になるようにしてください。

<左側フロントピラー部の配線>



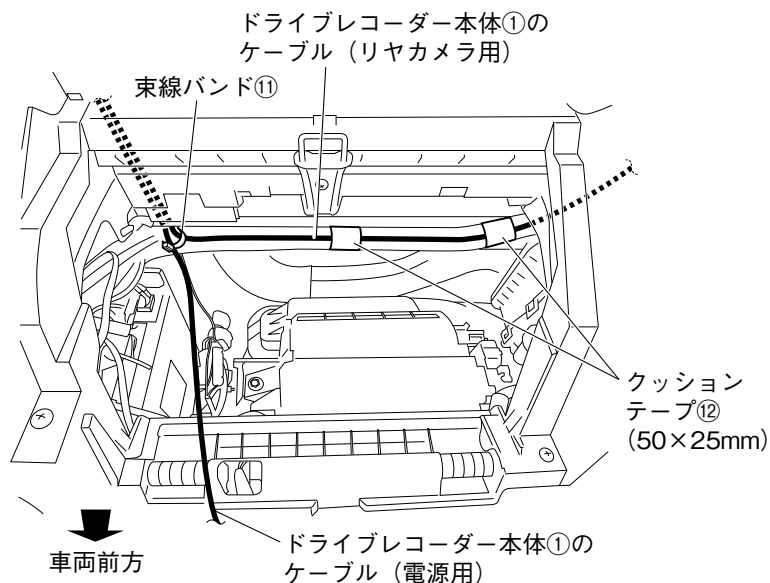
3. ドライブレコーダー本体①のケーブル（リヤカメラ用、電源用）をフロントピラーにクッションテープ⑫と束線バンド⑪で固定しながら配線します。

注記

- ・ 図示位置の板金エッジ部に保護シート⑬を貼り付けてください。
- ・ ドライブレコーダー本体①のケーブル（リヤカメラ用、電源用）およびクッションテープ⑫は、カーテンエアバッグの部品と接触しないように配策・固定してください。
- ・ クッションテープ⑫でフロントピラートリムの固定クリップ穴をふさがらないでください。また、フロントピラートリムの当てリブ部と干渉しないようにしてください。

4. ドライブレコーダー本体①のケーブル（リヤカメラ用、電源用）をフロントピラーとダッシュボードのすき間からグローブボックス取付部に配線します。

<グローブボックス取付部>



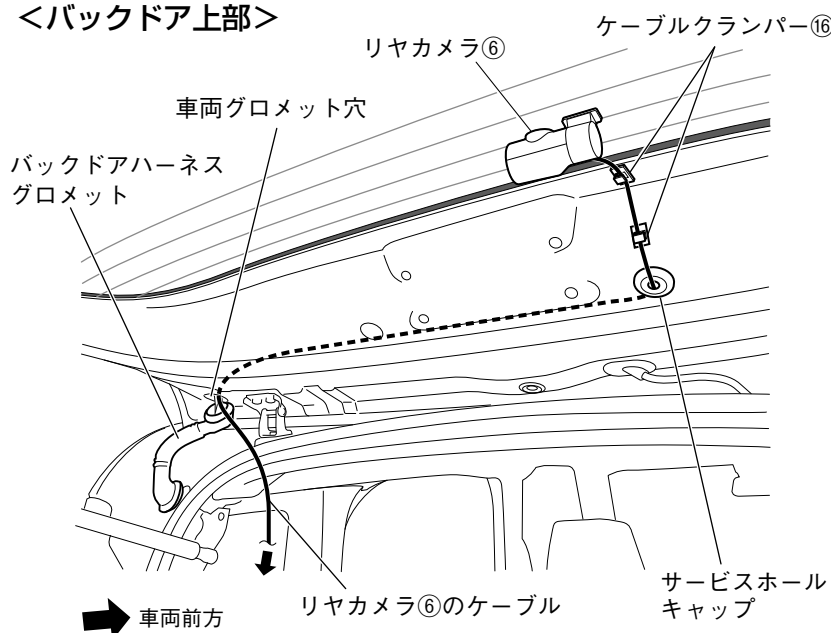
5. ドライブレコーダー本体①のケーブル (リヤカメラ用、電源用) を束線バンド⑪で車両ハーネスに固定します。
6. ドライブレコーダー本体①のケーブル (リヤカメラ用) のみをオーディオ開口部まで配線し、クッションテープ⑫で車両ハーネスに固定します。

注 記

ドライブレコーダー本体①のケーブル (電源用) は一緒に固定しないでください。

d. リヤカメラのケーブル配線 フロント・リヤセット

<バックドア上部>



1. バックドアハーネスグロメットの両端をバックドア側および室内側から外します。
2. リヤカメラ⑥のケーブルをサービスホールからバックドア側の車両グロメット穴まで通します。

注 記

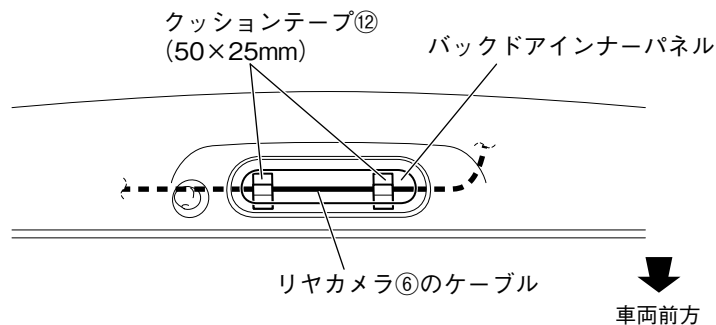
- ・リヤカメラ⑥のケーブルがブラケット (リヤ) ⑦の奥まで確実に押し込まれていることを確認してください。
- ・リヤカメラ⑥のケーブルは、配線作業中に引っ張ったりして、ブラケット (リヤ) ⑦の奥から外れないようにしてください。

3. サービスホールキャップを加工穴に取り付けます。
4. ケーブルクランパー⑯でリヤカメラ⑥のケーブルを固定します。

注 記

- ・ケーブルクランパー⑯貼付面の汚れ等をクリーナー⑭できれいに拭き取ってください。汚れていると接着力が低下します。
- ・気温が低いとき (15℃以下) は、ケーブルクランパー⑯の貼付面をドライヤーなどで温めてから貼り付けてください。

<ハイマウントストップランプ取付部>



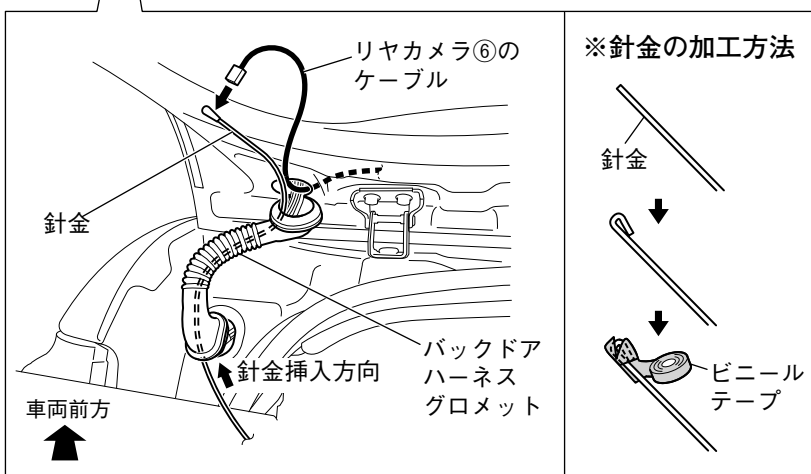
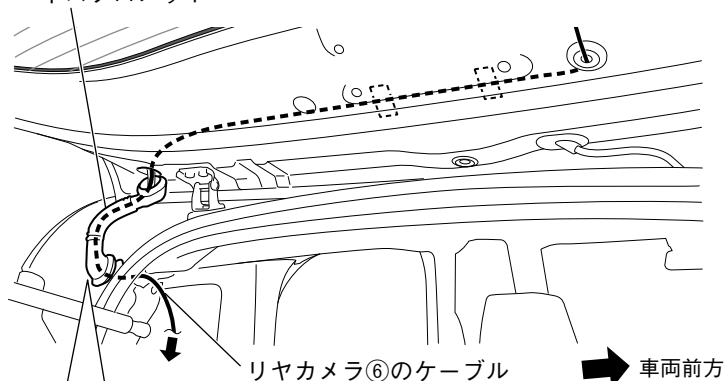
5. バックドア内のリヤカメラ⑥のケーブルをクッションテープ⑫でバックドアインナーパネルに固定します。

👉 アドバイス

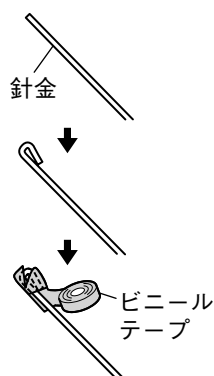
ハイマウントストップランプ取付部から作業を行ってください。

<バックドア開口部>

バックドア
ハーネスグロメット



※針金の加工方法



6. 針金を使用してバックドアハーネスグロメット内にリヤカメラ⑥のケーブルを通し、室内側まで配線します。

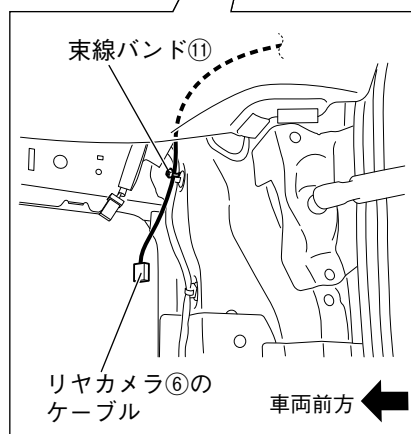
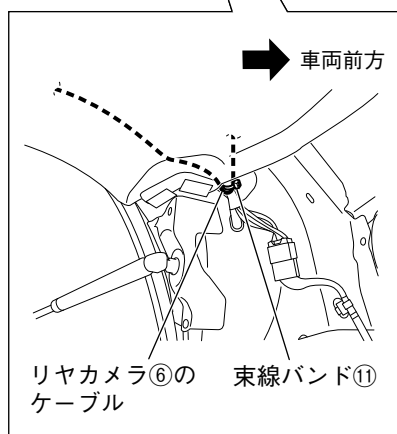
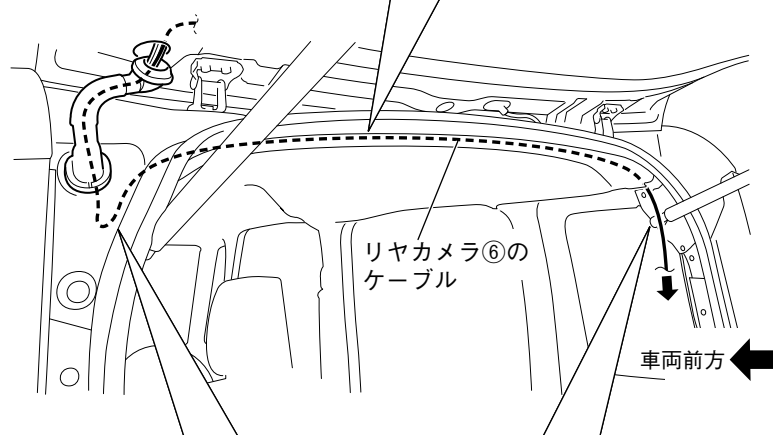
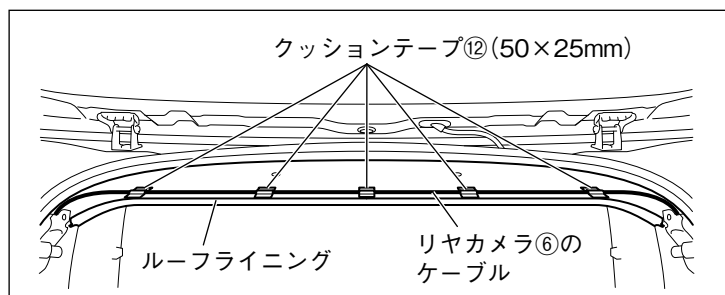
注 記

- ・バックドアハーネスおよびリヤカメラ⑥のケーブル破損防止のため、無理に引っ張ったりしないでください。
- ・リヤカメラ⑥のケーブルをバックドアハーネスグロメット内に通す際は、中性洗剤等を塗布してコネクタ部がバックドアハーネスグロメット内で引っかからないようにしてください。その際、コネクタや端子に中性洗剤等がかからないようにしっかりテーピングしてください。

👉 アドバイス

- ・針金の先端を折り曲げ、ビニールテープでテーピングをしてください。
- ・折り曲げた側の針金をバックドアハーネスグロメットの室内側からバックドア側に通してください。
- ・リヤカメラ⑥のケーブルのコネクタを針金にしっかりテーピングしてください。

<バックドア開口部>



7. リヤカメラ⑥のケーブルをルーフライニングとルーフパネルの間に配線し、クッションテープ⑫と束線バンド⑪で固定します。

注 記

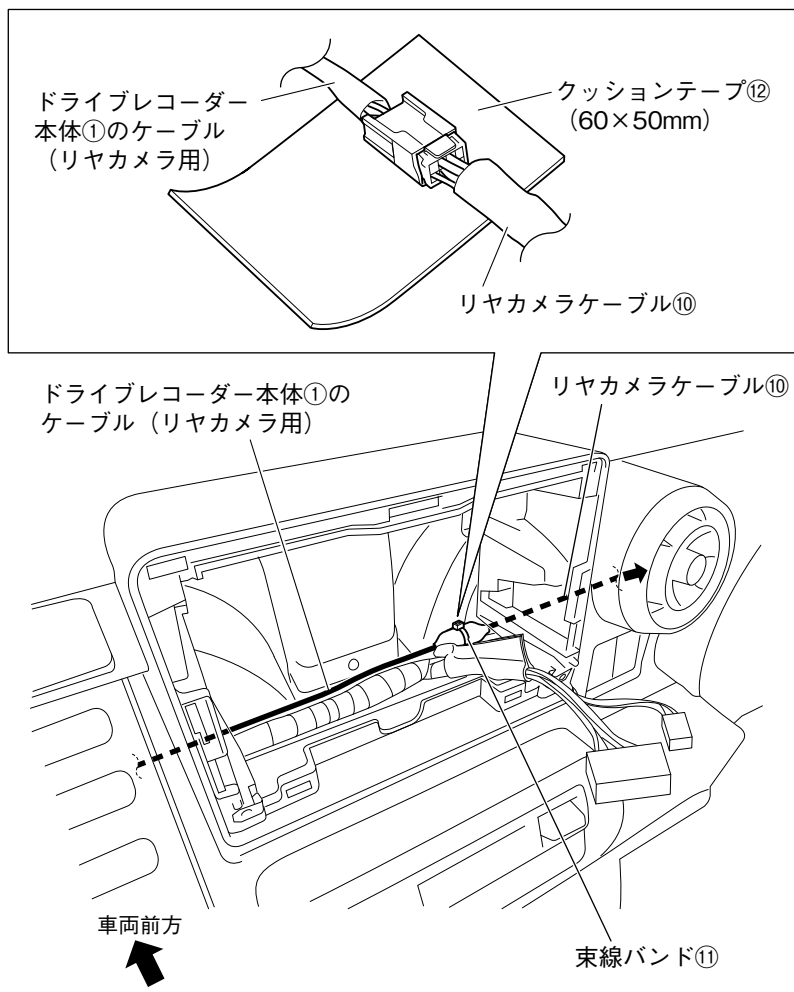
リヤカメラ⑥のケーブルやクッションテープ⑫がルーフライニングのクリップ穴等をふさがないようにしてください。

e. リヤカメラケーブルと電源ケーブルの配線

フロント・リヤセット

フロントのみ

<オーディオ開口部>

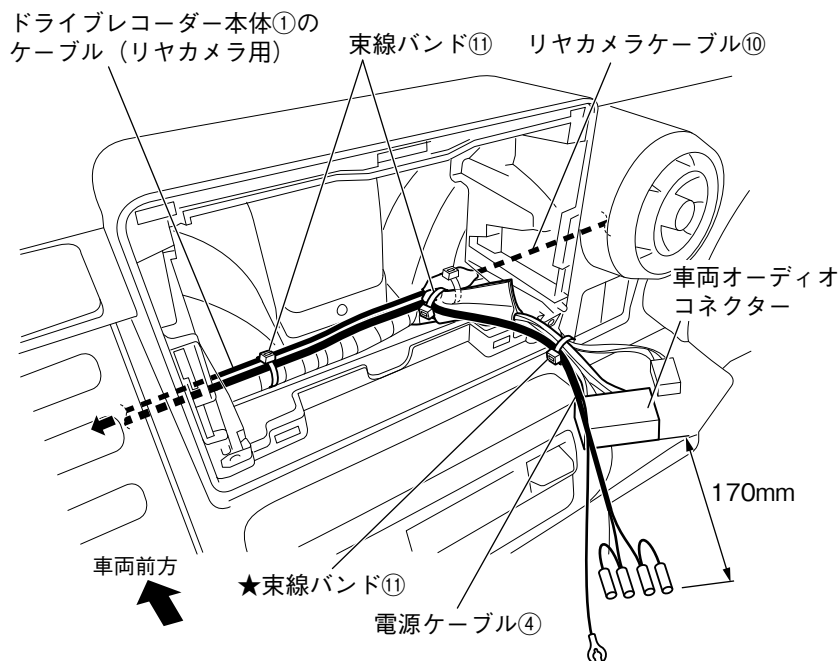


注 記

「フロントのみ」の場合は、ドライブレコーダー本体①のケーブル (リヤカメラ用) とリヤカメラケーブル⑩の配線作業はありません。

1. リヤカメラケーブル⑩をドライブレコーダー本体①のケーブル (リヤカメラ用) に接続します。
2. 接続したコネクター部にクッションテープ⑫を巻き付けます。
3. リヤカメラケーブル⑩を運転席足元右側まで配線し、コネクター部を束線バンド⑪で車両ハーネスに固定します。

<オーディオ開口部>



注 記

手順4～9はスズキコネクト対応通信機の装着状況により取付方法が異なります。取付車両に適した取付方法にて作業を行ってください。

● スズキコネクト対応通信機非装着車の場合

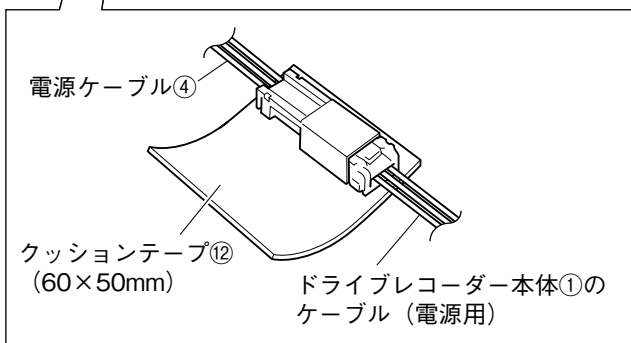
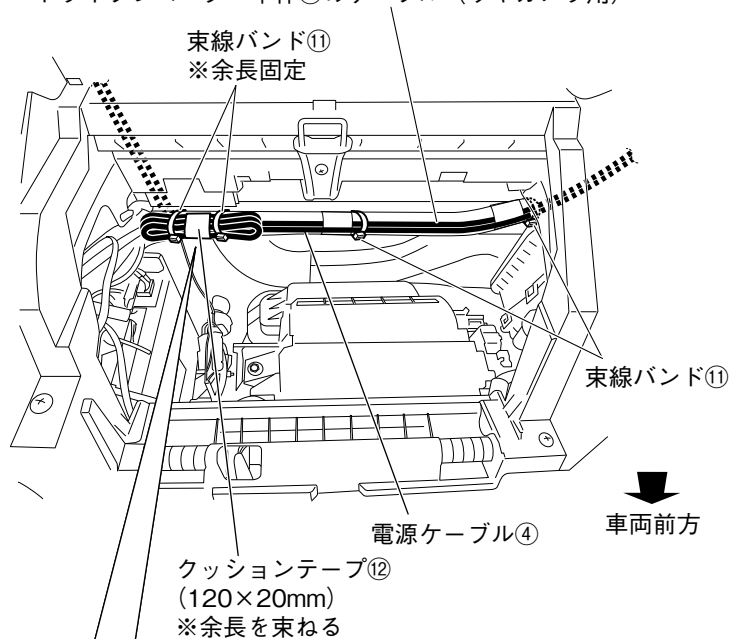
4. 電源ケーブル④をグローブボックス取付部まで配線します。
5. オーディオ開口部の電源ケーブル④とドライブレコーダー本体①のケーブル (リヤカメラ用) を図のように束線バンド⑪で車両ハーネスに固定します。

注 記

★部の束線バンド⑪は、電源ケーブル④のギボシ端子先端から車両オーディオコネクター先端までを図示寸法に合わせて固定してください。

<グローブボックス取付部>

ドライブレコーダー本体①のケーブル（リヤカメラ用）

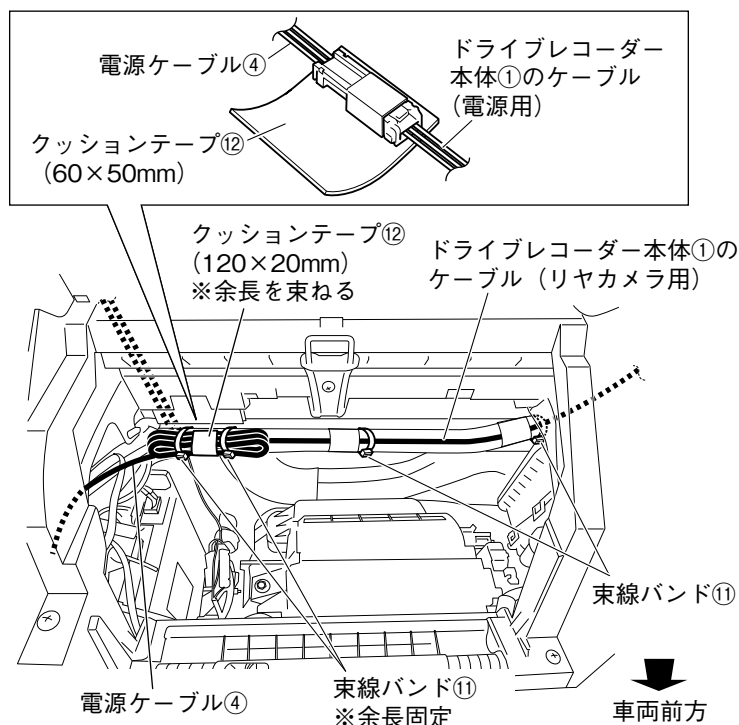


6. ドライブレコーダー本体①のケーブル（電源用）と電源ケーブル④を接続します。
7. 接続したコネクター部にクッションテープ⑫を巻き付けます。
8. 電源ケーブル④とドライブレコーダー本体①のケーブル（リヤカメラ用）を束線バンド⑪で車両ハーネスに固定します。
9. ドライブレコーダー本体①のケーブル（電源用）と電源ケーブル④の余長をクッションテープ⑫で束ねた後、束線バンド⑪で車両ハーネスに固定します。

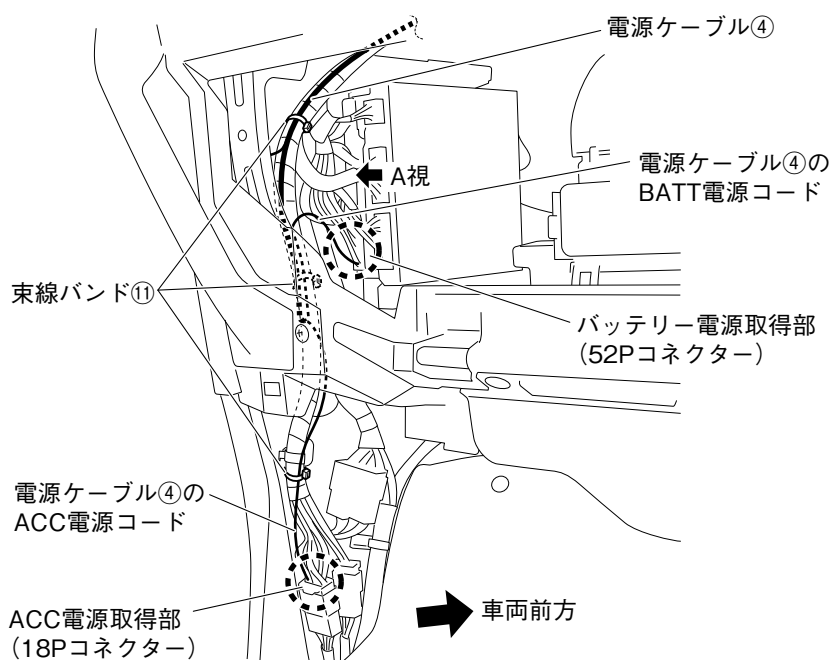
注 記

- ・ケーブルの余長はグローブボックスと干渉しないように固定してください。
- ・ドライブレコーダー本体①のケーブル（電源用）と電源ケーブル④を接続したコネクター部も一緒に束ねて固定してください。

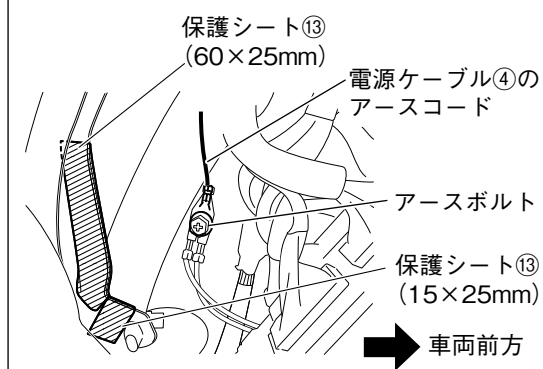
<グローブボックス取付部上側>



<グローブボックス取付部左側>



A視図 (グローブボックス取付部左側奥部)



● スズキコネクタ対応通信機装着車の場合

4. ドライブレコーダー本体①のケーブル (電源用) と電源ケーブル④を接続します。
5. 接続したコネクター部にクッションテープ⑫を巻き付けます。
6. 電源ケーブル④をグローブボックス取付部左側に配線します。

注 記

図示位置の板金エッジ部に保護シート⑬を貼り付けてください。

アドバイス

ACC 電源およびバッテリー電源の接続の詳細は「g. ACC 電源、バッテリー電源の取り出し要領」を参照してください。

7. 電源ケーブル④のアースコードを図示位置のアースボルトまで配線し、共締めします。

注 記

- ・ 指定トルク値に従いアースボルトを締め付けてください。
- ・ 他用品のアース取得位置と重なる場合は、それぞれのアース端子をずらして締め付けてください。
- ・ アース端子締め付け部は、締め付け後、端子が動かないことを確認してください。
- ・ ボデーアースが確実にとれていることをテスターで確認してください。
- ・ アース端子のエッジ部分が車両配線と干渉しない向きで固定してください。

8. 電源ケーブル④とドライブレコーダー本体①のケーブル (リヤカメラ用) を束線バンド⑪で車両ハーネスに固定します。
9. ドライブレコーダー本体①のケーブル (電源用) と電源ケーブル④の余長をクッションテープ⑫で束ねた後、束線バンド⑪で車両ハーネスに固定します。

注 記

- ・ ケーブルの余長はグローブボックスと干渉しないように固定してください。
- ・ ドライブレコーダー本体①のケーブル (電源用) と電源ケーブル④の余長は一緒に束ねて固定してください。

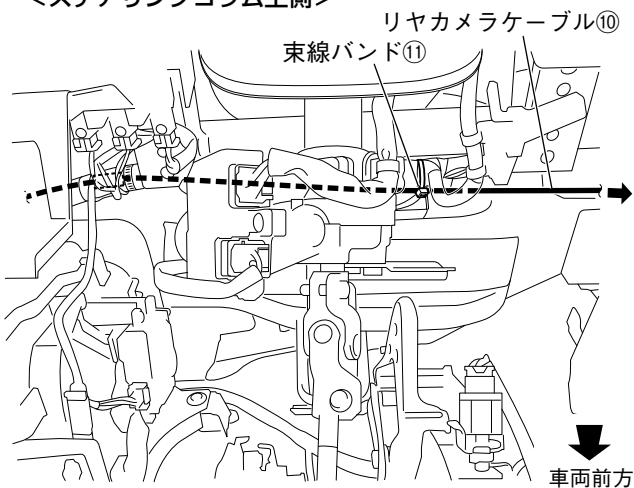
10. リヤカメラケーブル⑩をクォーターピラー右側まで配線します。
11. リヤカメラケーブル⑩をリヤカメラ⑥のケーブルに接続します。
12. 接続したコネクター部にクッションテープ⑫を巻き付けます。
13. リヤカメラケーブル⑩を束線バンド⑪とクッションテープ⑫で固定します。

注 記

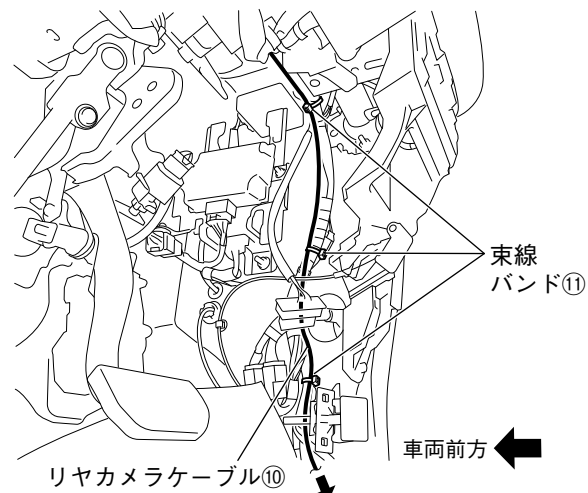
図示位置の板金エッジ部に保護シート⑬を貼り付けてください。

14. リヤカメラケーブル⑩の余長を束線バンド⑪で車両ハーネスに固定します。

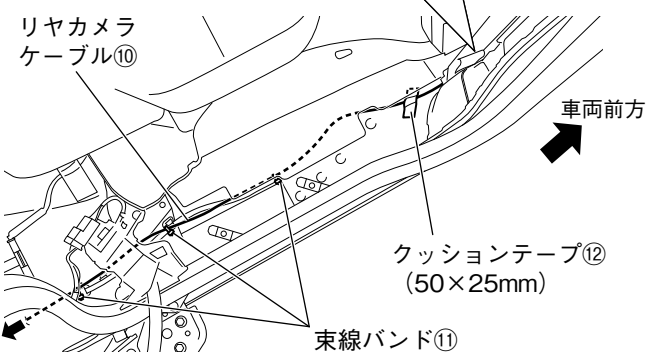
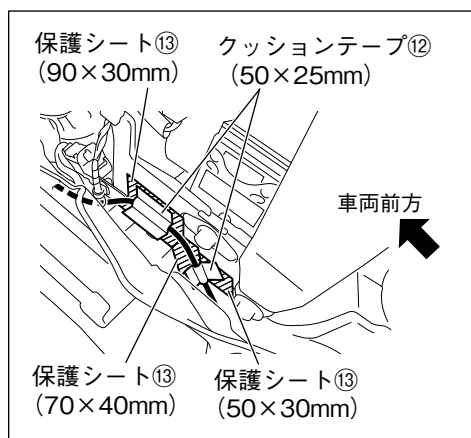
<ステアリングコラム上側>



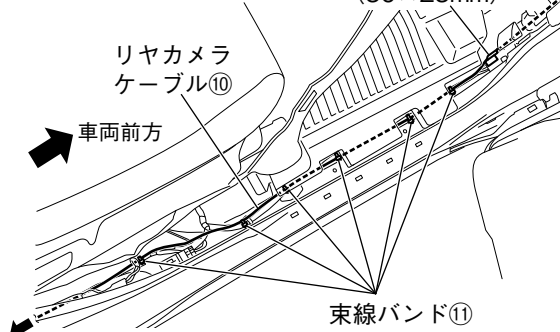
<運転席足元右側>



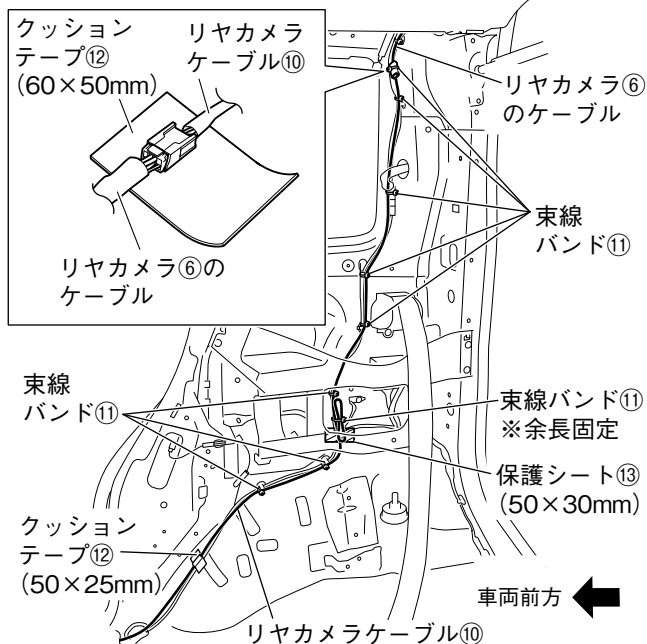
<リヤドア右側開口部>



<フロントドア右側開口部>



<クォーターピラー右側>



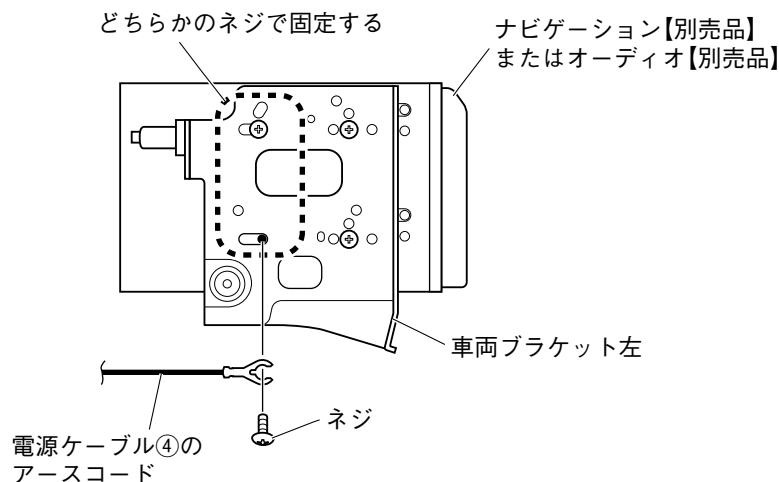
f. 電源ケーブルのアースコードの接続

フロント・リヤセット

フロントのみ

●スズキコネクタ対応通信機非装着車の場合

<アースコードの接続>



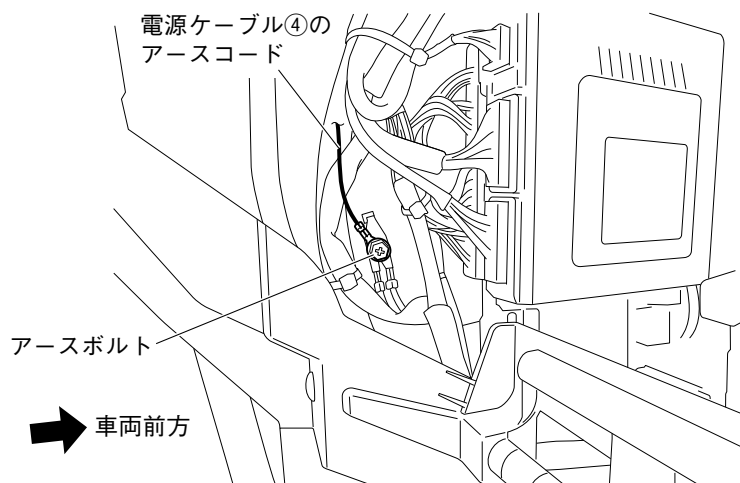
1. 電源ケーブル④のアースコードを車両ブラケットの図の位置に固定します。

注記

アースが確実に取れていることをテスターで確認してください。

●スズキコネクタ対応通信機非装着車で本製品とナビゲーションもしくはオーディオを同時取付しない場合

<グローブボックス取付部左側>



- ・ドライブレコーダー本体①とナビ、オーディオを同時に取り付けない場合は、図示位置のアースボルト部にてアースをとり、取付後の確認を行います。
また、確認終了後はアース端子を取り外し、ナビ、オーディオ取り付け部へ配線してください。

注記

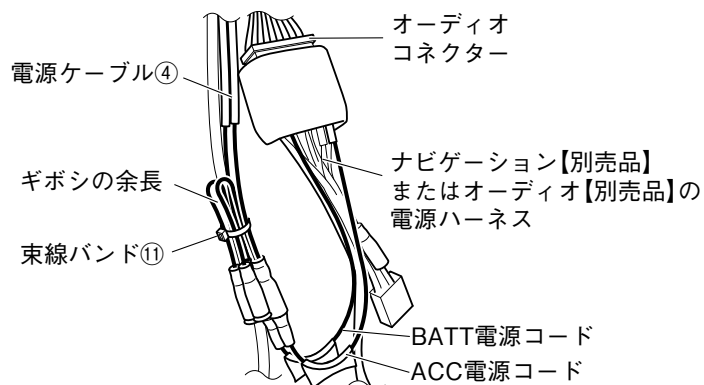
アース端子は他のアース端子と重ならないように取り付けて確認を行ってください。

g. ACC電源、バッテリー電源の取り出し要領

フロント・リヤセット

フロントのみ

●スズキコネクタ対応通信機非装着車でオーディオコネクター部にギボシ端子がある場合



1. 電源ケーブル④のギボシ端子をナビゲーション【別売品】またはオーディオ【別売品】の電源ハーネスに接続します。ギボシ部の余長は、束線バンド⑪で束ねます。

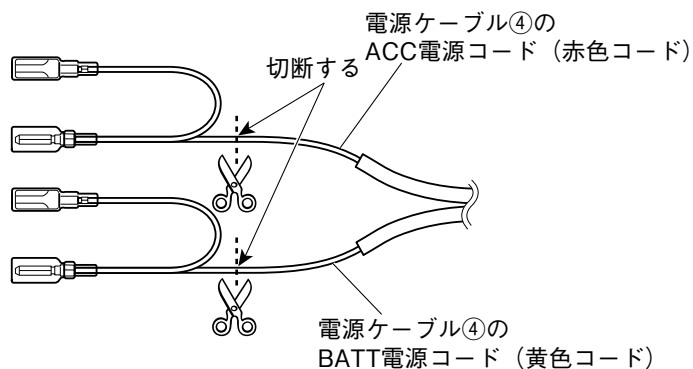
警告

接続しないギボシ端子は、必ず絶縁テープを巻き付けてください。共通編の「結線図 ■用品ナビ・オーディオと共着し、電源ハーネスにACC/バッテリー電源のギボシ端子がある場合」を参照してください。

アドバイス

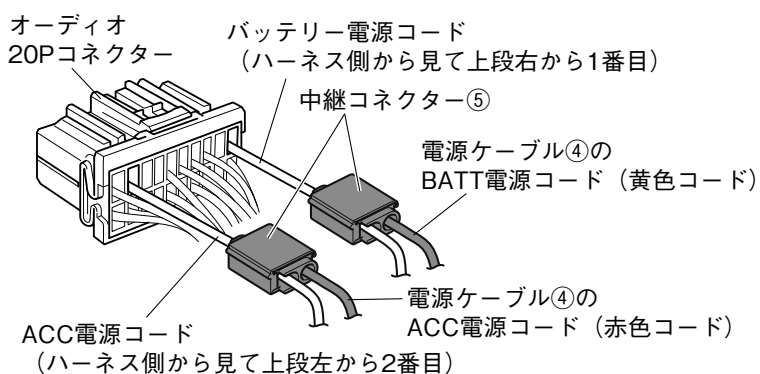
電源ケーブル④の接続は、共通編の「結線図」を参照して接続してください。

●スズキコネクト対応通信機非装着車でオーディオコネクター部にギボシ端子がない場合



1. 電源ケーブル④のBATT 電源コード（黄色コード）および ACC 電源コード（赤色コード）先端のギボシ端子部を切断します。

※オーディオコネクターが水色 20P の場合

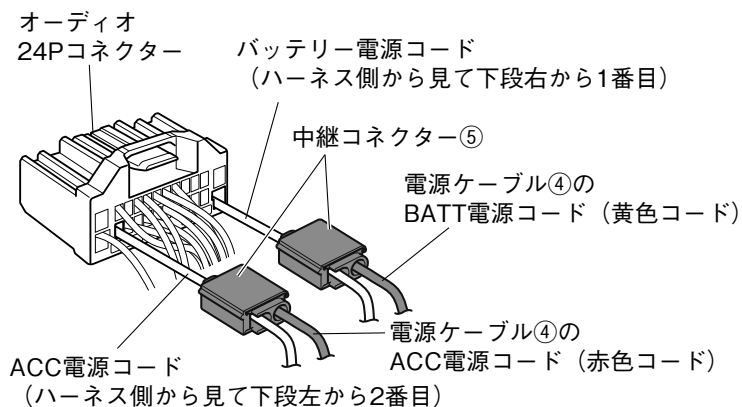


2. オーディオコネクター（水色または灰色）のバッテリー電源コードに電源ケーブル④のBATT 電源コード（黄色コード）を中継コネクター⑤で接続します。
3. オーディオコネクター（水色または灰色）のACC 電源コードに電源ケーブル④のACC 電源コード（赤色コード）を中継コネクター⑤で接続します。

👉 アドバイス

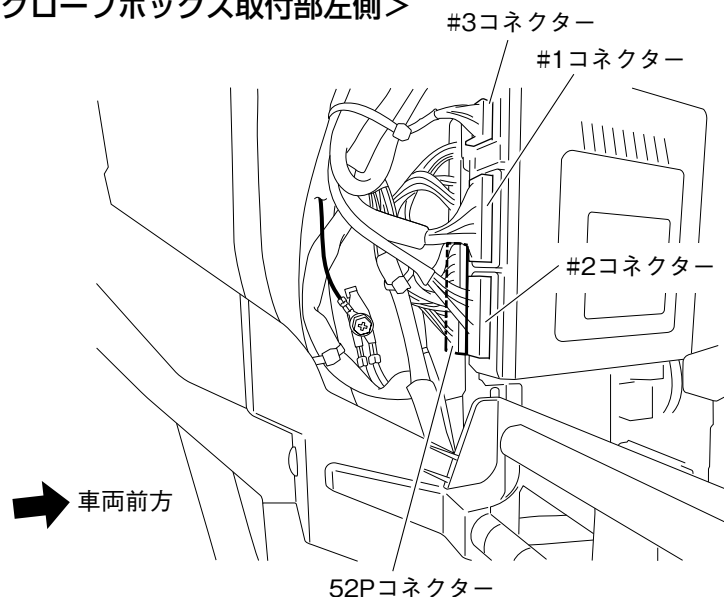
中継コネクター⑤の接続方法は、共通編の「中継コネクターの使用方法」を参照してください。

※オーディオコネクターが灰色 24P の場合



●スズキコネクタ対応通信機装着車の場合

<グローブボックス取付部左側>

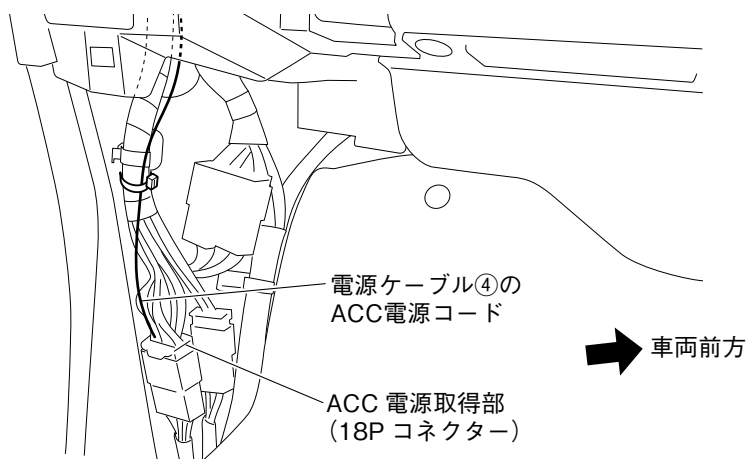


1. バッテリー電源取得部の 52P コネクタと ACC 電源取得部の 18P コネクタを取り外してください。

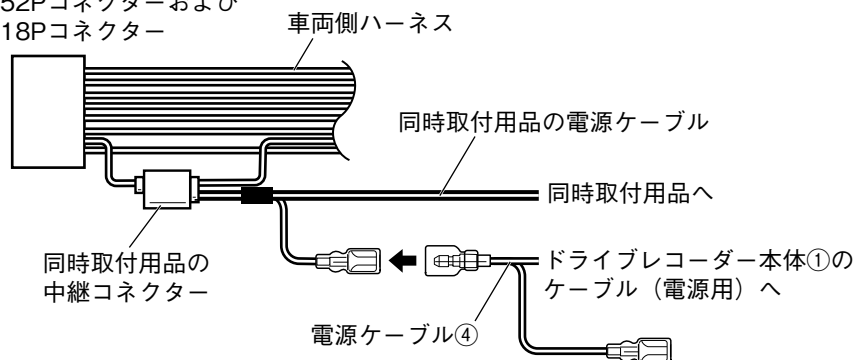
注記

52P コネクタ部は、先に #1,#2,#3 コネクタを取り外してから、52P コネクタを取り外してください。

<助手席足元左側>



52Pコネクタおよび
18Pコネクタ



注記

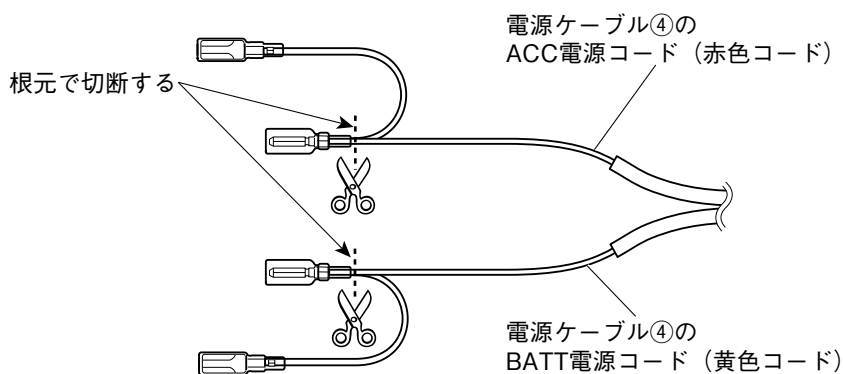
手順 2 以降は同時取付用品の電源ケーブルの形態により取付方法が異なります。取付車両に適した取付方法にて作業を行ってください。

●同時取付用品の電源ケーブルにギボシ端子がある場合

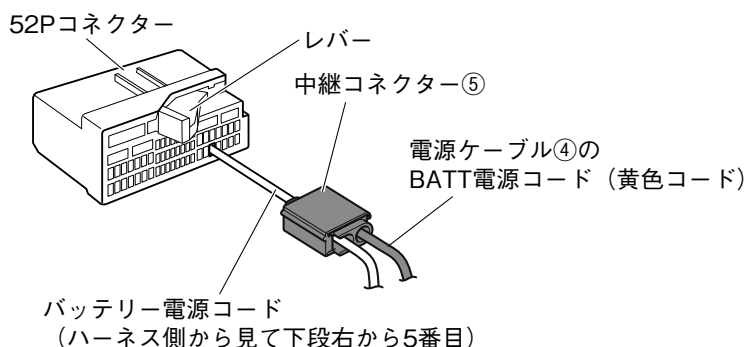
2. 電源ケーブル④の BATT 電源コードおよび ACC 電源コードは、同時取付用品の電源ケーブルに接続します。

警告

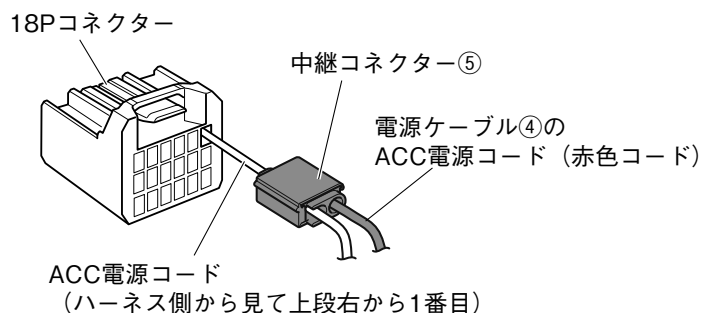
接続しないギボシ端子は、必ず絶縁テープを巻き付けてください。共通編の「結線図 ■用品ナビ・オーディオと共着し、電源ハーネスに ACC/バッテリー電源のギボシ端子がある場合」を参照してください。



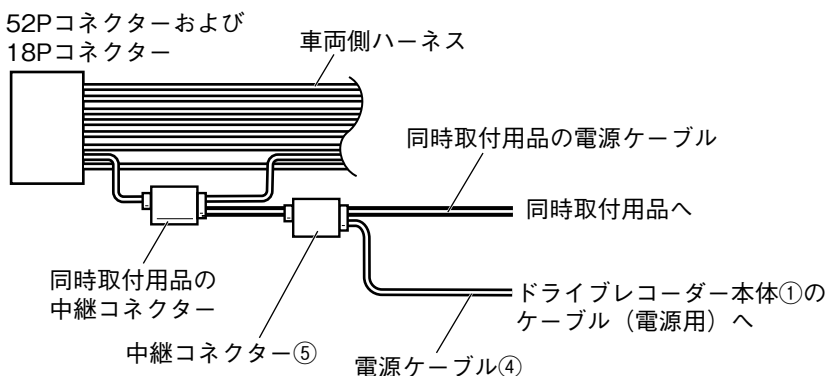
< バッテリー電源：取得位置 >



< ACC 電源：取得位置 >



※同時取付用品がある場合



● 同時取付用品がない場合／同時取付用品の電源ケーブルにギボシ端子がない場合

2. 電源ケーブル④の BATT 電源コード（黄色コード）および ACC 電源コード（赤色コード）先端のギボシ端子部を切断します。

注 記

コードを適切な長さにするため、左図の通りギボシ端子の根元で切断してください。

3. 52P コネクター（灰色）のバッテリー電源コードに電源ケーブル④の BATT 電源コード（黄色コード）を中継コネクター⑤で接続します。
4. 18P コネクター（灰色）の ACC 電源コードに電源ケーブル④の ACC 電源コード（赤色コード）を中継コネクター⑤で接続します。
5. 中継コネクター⑤接続後、異音防止のためクッションテープ⑫（60 × 30mm）を中継コネクター部に巻き付けてください。

注 記

- ・ 同時取付用品がある場合は、先に車両ハーネスに接続した電源ケーブルから分岐させてください。
- ・ 車両側ハーネスのコード 1 本につき、接続する中継コネクターは 1 個としてください。

アドバイス

中継コネクター⑤の接続方法は、共通編の「中継コネクターの使用方法」を参照してください。

5. 車両部品の復元

1. 取り外しと逆の手順で取り付けます。

- ・ 車両部品復元時に一時的に取り外した部品は、必ずサービスマニュアルの手順に沿って、用品取り付け前の状態に戻してください。(コネクター類の接続・締め付けトルク等)
- ・ 取り付け作業完了後、車両および用品が正しく機能しているか動作確認してください。
車の電装品（ブレーキ、ライト、ホーン、ウインカー、ハザードなど）が正常に動作しない状態で使用すると、火災や交通事故の原因になります。
- ・ オートライト機能装備車の場合は、オートライト未作動状態での点検を行ってください。

注記 インパネセンターガーニッシュ復元の際、組み付け状態を確かめてください。

【組み付け状態確認方法】

意匠側からライト等でルーバー内を照らし、ルーバーとダクトのかん合状態を確認してください。

(ダクト先端部が見えている場合は正確にかん合されていません。)

- ネジの締め付けトルクが規定されている場合は、規定のトルクで締め付けてください。

注記

52P コネクターの枝線がねじれてレバーの操作力が高い場合は、無理に結線しないでください。